

2021年12月7日
一般社団法人 日本船主協会

池田会長による海上保安庁長官への訪問について

12月6日、池田会長、友田副会長、森重理事長ほか1名が海上保安庁を訪れ、海上保安庁長官に対し、海賊対処行動に対する感謝の意を伝えました。

日本船主協会では2019年まではジブチ共和国への代表団による訪問並びに、東京での「海賊対処行動感謝の集い」を開催し、感謝の意を伝えておりました。

2020年からは、新型コロナウイルス禍により、これら活動が実施できず、代わりに、訪問を行っているものです。

初めに、池田会長より、我が国の外航海運業界を代表し、海上保安庁の隊員の皆様が取り組む海賊対処行動に関する謝意を奥島高弘長官に対し伝えると共に、隊長として派遣されていた海上保安官に対し感謝状を手渡しました。

加えて、次年度は是非、ジブチ訪問と感謝の集いを実施したいとの意をお伝えしました。

長官からは来訪についての謝意が伝えられたあと、事案に対処した際の実務訓練等がコロナ禍で制限を受けていることや、長期航海に携わる隊員のケアなどについて紹介されました。

また、会長は、石井昌平次長、瀬口良夫海上保安監に対しても、たゆまない、海賊対処行動への感謝の意を伝えました。



奥島長官に感謝状を手渡す池田会長



小林 第38次派遣隊長に感謝状を手渡す池田会長